

新刊案内



ふかふかだよ
間部香代／作
ひろかわさえこ／絵



カーたろうとこけしっぺ
山田美津子／作・絵

今からはじめる哲学入門 ----- 戸田剛文
 図説十字軍 ----- 櫻井康人
 日本の祭り解剖図鑑 ----- 久保田裕道
 ミニマリストな暮らし方 ----- すばる舎編集部
 音叉 ----- エドワード・ゴーリー
 数の英語表現辞典 ----- 小学館辞書編集部
 緊張して話せるのは才能である ----- 永井千佳
 女性のための漢方生活レッスン ----- 薬日本堂



「お酒に酔う」

春はお花見や歓迎会など、お酒を飲む機会が多い季節ですね。度を越えた酔っぱらいは敬遠されるので、お酒は人に迷惑を掛けないように楽しみたいものです。一方、お酒には数多くの文学に登場し、歴史上でも多くの役割を演じてきた一面もあります。

東理夫『酒から教わった大切なこと』。さまざまなお酒に関係する本・映画などを語るエッセイ。後から考えればまずいとしか言いようのないお酒を、若い頃に「おいしく」飲んだという小川国夫のエッセイに触れ、著者は「ほくの青春は人真似のまがいものではなかったろうか」と痛烈に振り返る場面もあります。

重金敦之『ほろ酔い文学事典』。ベストセラー出版に携わったこともある文芸ジャーナリストの著者が、作家たちが描いたお酒にまつわる風景を選び抜いて紹介した一冊。作家の表現力で示されるお酒の世界が、食物や女性に例えられ濃厚な雰囲気漂います。

マーク・フォーサイズ『酔っぱらいの歴史』。石器時代から人はお酒を飲んでおり、酔っぱらうことは普遍的なことであると著者は語ります。酔っぱらうことについて、人類はそこに潜む危険と幸福にどのように飲み込まれてきたのか。酔っぱらうとはどういうことか、改めて考えるきっかけになるかもしれません。

5月の休館日

日	月	火	水	木	金	土	休館日
			1	2	3	4	開館時間
5	6	7	8	9	10	11	火～金曜日 午前10時～午後7時
12	13	14	15	16	17	18	土・日曜日、祝日
19	20	21	22	23	24	25	午前10時～午後5時
26	27	28	29	30	31		

お知らせ

4月27日(土)から5月6日(月・振休)まで図書館は休みなく開館しますが、5月7日(火)は臨時休館します。また、返却ポストは休館中のみ利用可能です。ただし、CD/DVD、大型絵本、紙芝居、他館からの貸出資料については利用できませんのでご注意ください。